



生涯学習にいがた

No. 78 平成21年7月17日

若者が育つ地域づくり研修会

6月19日、第1回「若者が育つ地域づくり研修会」を実施しました。本研修は、地域の特性を生かしながら、家庭・学校・行政・地域を結んだ人づくり・地域づくりを進めるための企画力・運営力の向上をねらいとしています。今回は講義、事例発表(行政・学校・市民活動の3例)、グループ協議という内容でした。概要は以下の通りです。

【講義】

「小さな社会」から「大きな社会」へ

～若者がボランティアになるチャンスを拓く～

講師 社会福祉法人世田谷ボランティア協会理事長 興梠 寛

24歳での「バングラディッシュ」支援ボランティアを立ち上げ。

「冒険遊び場」、全国一斉電話「チャイルドライン」、若者のための「夏ボランティア(通称:夏ボラ)」などの設置とその後の活動。

ネットワークやストーリーのある企画がボランティアには不可欠。



【事例発表①】

「かながわ高校生チャレンジボランティア」～地域貢献活動・ボランティア活動の推進～

神奈川県教育委員会教育局高校教育課 主査兼指導主事 甲斐秀幸

社会の構成員としての豊かな人間性を身に付けた人材を育成するため、「神奈川力構想・実施計画」「かながわ教育ビジョン」で高校生の地域貢献活動、ボランティア活動を位置付けており、着実に成果が上がっている。詳細は神奈川県のHPに掲載。

<http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kokokyoiku/kenritu/volunteer/index.html>



【事例発表②】

「ボランティアバンクを活用したボランティア活動の取組」

神奈川県立秦野総合高等学校 教諭 松原智子

全校生徒がボランティアバンクに登録。ボランティア活動により単位が取得できる制度。

上限単位数は決まっており、活動計画書と活動報告書の提出が必要。地域からの依頼も多く、断らなくてはいけない場合もある。

活動を通して、生徒の自信や対人関係を築く力につながっている。

【事例発表③】

「夢が現実に！みんなの力でカンボジアに学校ができた」～ボランティアから夢が広がる～

アジアの子どもたちに学校を贈る会会長 松原甚太郎

「子どもフェスティバル」において、環境美化とリサイクルをテーマに、参加費の代わりに空き缶や牛乳パックを持ってきてもらったことが始まり。年々活発となり、藤岡市内の高等学校、中学校、小学校が協力し、その結果としてカンボジアに学校を建設するまでになった。学校名は「群馬藤岡小学校」。

思いっきりつなごう ～こども・家庭・地域～

7月2・3日の2日間にわたり、NPO法人“ピアサポートネットしづや”の相川良子理事長を講師に迎え、家庭教育支援者の為の企画力セミナーを実施しました。

まず、講師より『地域の大人・子ども・若者とかかわった10年』と題し、若者の居場所作りや思春期を迎えた子どもの特徴についての講義がありました。その後、各課題別に事業の企画書作りの演習を行いました。

3×3のマスを使った“マングラートシート”で色々な個人の考えを出しました。その後、“事業企画設計シート”を使い、事業の目標・概要・内容・資源・タイトル・与件など話し合い、すぐに実施できる事業企画を作成しました。課題別企画は以下の通りです。

- ① 地域社会と学校を結ぶ
- ② プログラム作り(小学生・中高生)
- ③ 子どもの居場所作り
- ④ 親向けのプログラム
- ⑤ 青少年をサポートするネットワーク作り



現代社会で人とかかわりをつくる為には

- ① 家庭と地域、子どもと大人、若者との関わりをつくる「場」が必要
- ② ファシリテートする「人材」が必要
- ③ 参加したくなる活動のデザイン「企画」が必要
- ④ グランドデザインをする人材(プロデューサー)とワークショップをデザインする人材(ワークショップデザイナー)が必要
- ⑤ 企画を立てる為の6W3Hと与件を確認することが必要

それをコーディネートするのが企画者の役目のようです。

*6W3H=Why? Whom? How far? When? Where? What? How? Who? How much?

第1回 生涯学習職員研修「基礎研修会」

5月28・29日の2日間にわたり、「生涯学習・社会教育事業への挑戦 ～はじめの一步から～」をテーマに、生涯学習職員研修「基礎研修会」を実施しました。新任職員の方が「現場で役立つ研修」として、「事業の企画及びプログラム作成」を中心に実施しました。



第1日目

【1】体験発表「知識ゼロからの出発」長岡市市民協働部生涯学習文化課 主事 於島 裕

初めて担当する事業の取組の様子、工夫した点、苦労、失敗談、トラブルへの対応策など。

今後の課題として、①マンネリ化しない講座の企画、②幅広い年代から講座受講者を募る、③合併地域から講座受講者を募る、④文化施設の指定管理者委託、⑤合併地域全体での企画の統一、⑥効果的な広報等の話。

【2】情報交換

6グループに別れ、自己紹介、発表を聞いての感想発表、互いの業務についての情報交換。

【3】講義「生涯学習社会における社会教育の役割」県立生涯学習推進センター学習振興課 課長 風間昌平

生涯学習社会における社会教育の役割について、生涯学習の考え方・理念や改正教育基本法及び社会教育法の解説も含めて説明。

【4】講義・演習「事業の企画及びプログラム作成の視点と手順を取得しよう」

県立生涯学習推進センター学習振興課 副参事 内藤 薫

事業計画は事業評価を明確に位置づけ「誰のために、何のために」「どのような内容を、どのように組み立て」「どのように実施していくか」を示すことが大切。また、事業を有効に推進するために作成されるべき。等の話。

第2日目

【1】演習「事業の企画及びプログラムを作成しよう」

グループ内で、事業の企画及びプログラム作成の視点と手順に従い、事業計画書及び学習展開計画を作成。

【2】発表・全体講評

各グループの作成したプログラム発表。全体講評で、内藤講師より「市町村民のために何が出来るか。」の考えとグループをまとめていくテクニックの大切さ等の話。

第2回研修会は、平成21年9月3日に実施の予定。

みなさんの学びを支援する

『ちょっとおしえてコール』 『ラ・ラ・ネット』 をご利用ください

県立生涯学習推進センターでは、生涯学習に関する様々な相談に応じる「ワンストップ・サービス」を目指して、相談業務を推進しています。社会教育・学校教育関係機関・団体からの相談だけでなく個人からの多様な相談もお受けしています。



例えば、以下のような相談が寄せられています。

- 学年PTAで、親子で楽しむ行事をしたい。どんなことができるだろうか？
- 男女共同参画を意識した家庭教育講座の参考になる資料はないか。
- 400人程度収容のホールで、文化講演会を開催する。県外から講師を呼びたいのだが、...
- 高齢者向け講座で、生活習慣病について話をしてくれる講師を紹介してほしい。
- 就学時検診の際、保護者に入学前の心構え、しつけについて話をしてくれる人を紹介してほしい。
- 中学生の保護者を対象に、携帯電話の使い方の講演会を開きたい。講師はいないか？

相談をお受けするのは、専任相談員と社会教育主事です。収集した情報や相談員の知識と経験を生かしながら、きめ細かな対応をします。気軽にご利用ください。 **TEL:025-284-6119 (火～金 9:30～17:00)**

また、インターネットによる生涯学習情報提供システム『ラ・ラ・ネット』でも、次のような情報を提供しています。

講座・イベント、いきいき県民カレッジ、施設、団体・グループ、指導者
ボランティア、おやこのひろば 等々 ご利用をお待ちしています。

(PC版) <http://www.lalanet.gr.jp> (携帯版) <http://www.lalanet.gr.jp/m/>



『16mm映写機操作技術講習会』

5月15日(金)に、16mmフィルムの利用促進と操作技術の向上を図るため、技術講習会を実施しました。

自分で操作するために研修を受けた方もいれば、自分の公民館で講習会を実施するために研修を受けた方など様々な立場から、5名の方が参加されました。

はじめは緊張しながら操作していましたが、最後はマニュアルを見なくても操作することができました。「最初は緊張しましたが操作に慣れたら楽しくなりました。職場で実際に映写してみたいです。」という受講者の声も聞かれ、どの受講者も確かな技能と自信を身に付けることができたようです。 次回は8月28日(金)に実施します。



「にいがた連携公開講座2009」がスタート

「にいがた連携公開講座2009」は、新潟県教育委員会と県内の大学や市町村などが連携して、県民の皆様にとって身近でかつ地域ニーズに対応したテーマで開催する公開講座です。本年度は9講座を開催します。

	期 日	演 題	講 師	主:主会場 副:受信会場
1	6/6(土)	歴史を学ぶ ～日本女性の地位の変遷と歴史学～	新潟産業大学 准教授 小林健彦	主:新発田市加治川地区公民館
2	7/11(土)	裁判員制度について	新潟地方裁判所事務局 総務課長 長谷川雄司	主:十日町情報館
3	7/18(土)	住民が主体となった地域づくり	新潟工科大学 准教授 田口太郎	主:長岡市小国公民館
4	7/25(土)	学校給食と食育の変遷とその重要性	新潟県立大学 教授 田村朝子	主:佐渡島開発総合センター
5	8/25(火)	NHK大河ドラマ直江兼続生誕地 義と愛のおもてなし	(財)山の暮らし再生機構 主任支援員 小林昌子	主:刈羽村生涯学習センター 「ラピカ」
6	9/5(土)	現代人にとって食の民俗は 遠い存在でしょうか?	県立歴史博物館 主任研究員 陳玲	主:新潟県立歴史博物館
7	9/8(火)	会津八一の素顔の魅力	文芸評論家 若月忠信	主:見附市勤労者家庭支援施設 ふぁみりあ
8	12/4(金)	名前に見る江戸時代の社会生活	県立文書館 副館長 本井晴信	主:県立生涯学習推進センター
9	1/15(金)			主:県立生涯学習推進センター 副:新発田市加治川地区公民館

9講座とも、開講時間は13:30～15:00、受講料無料です。いきいき県民カレッジの登録講座です。

センターホールが名画座に!
映画・ビデオ鑑賞会
～ホール『全席』無料開放～

- ◆7月26日(日) 13:00～14:45
『父と暮せば』 ・2004年制作、劇映画、99分
 - ◆8月23日(日) 13:00～14:35
『火垂るの墓』 ・1988年制作、アニメ、88分
 - ◆9月13日(日) 13:00～14:50
『忘れられた子供たち ～スカベンジャー～』
・1995年制作、劇映画、100分
- 各回とも、開場は上映開始の30分前となります。
 - 入場無料、申込不要、先着順(186名)
 - 会場: 県立生涯学習推進センター・1Fホール
 - 運営: 映画ボランティアの会
 - 駐車場: 鳥屋野潟公園の駐車場をご利用ください。
 - 詳しくは、センターホームページをご覧ください。
(<http://www.lalanet.gr.jp/nlpc>)
- ※ 事情により内容を変更する場合があります。

新潟県立青少年研修センター
平成21年度9月主催事業の案内

「越前浜チャレンジセミナー」

第3回 環境教育指導者養成編

- 日時: 平成21年9月12日(土)～13日(日) 1泊2日
- 場所: 新潟県立青少年研修センター
〒953-0012 新潟市西蒲区越前浜5597-1
- 内容: プロジェクトワイルドの考え方を研修し、体験を通じて環境教育における一般指導者(エデュケーター)を育成する。
- 定員: 30人
- 対象: 18歳以上の青年、青少年指導者等(高校生を除く)
- 費用: 1人 6,500円(テキスト代含む 予定)
- 申込期間: 平成21年8月28日(金)まで
- 申込方法: 電話にてお申し込みください。
- その他: 詳細については、必ず電話にてご確認ください。
- 問い合わせ: 県立青少年研修センター TEL:0256-77-2111

平成21年度自作視聴覚教材コンクール審査結果は以下のとおりです

- 優秀賞 「安全なくらし 交通事故をふせぐ」(小学校部門、DVD、21分54秒、20年度長岡市視聴覚研究協力員)
- 奨励賞 「新潟市立浜浦小学校音楽集会」(小学校部門、DVD、24分30秒、新潟映像制作ボランティア)
「菜切包丁ができるまで」(小学校部門、DVD、12分、三市南蒲地域視聴覚教育協議会)
「吉川PR」(中学校部門、DVD、4分、上越市立吉川中学校)
「ありがとう 新潟」(社会教育部門、DVC、4分40秒、新潟映像制作ボランティア)
「旧新潟税関庁舎」(社会教育部門、DVD、9分、新潟映像制作ボランティア)
- 審査員特別賞 新潟映像制作ボランティア たくさんのご応募、ありがとうございました。

さわやかメール

先月、東京上野にある国立教育政策研究所社会教育実践研究センターにて開催された全国生涯学習センター等研究交流会に参加する機会を得た。毎年、全国の生涯学習センター等の方々が一堂に会して様々な研修が行われるが、今年度は特に、生涯学習センター等の方向性や課題について貴重な示唆をいただくことができ、今後のセンターの在り方を考える上で大変参考となった。

行政改革や市町村合併による県の対応、教育基本法や社会教育法の改正など、センター等を取り巻く状況が大きく変わってきていることから、各センター機能の一元化や指定管理者制度の導入、センター機能の精選や縮小など、様々な試みや変革を行っている県もある。「不易と流行」ではないが、変えてはならない事柄と改革していく事柄をしっかりと見据えながら、県民や市町村のニーズを的確に把握して当センターの運営に取り組んでいきたい。

●新潟県生涯学習情報提供システム「ラ・ラ・ネット」

<http://www.lalanet.gr.jp/>
携帯版は、<http://www.lalanet.gr.jp/m>

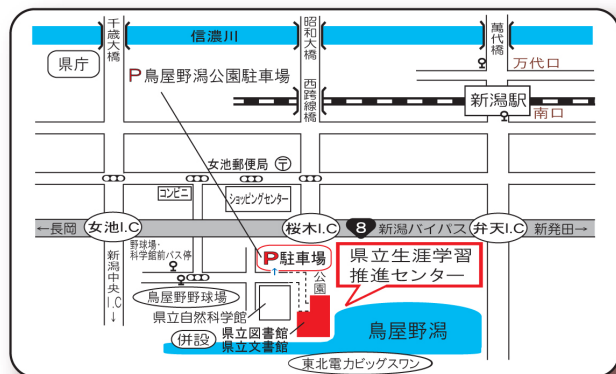


●家庭教育・子育て電話相談「すこやかコール」

TEL:025-283-1150 FAX:025-284-6019

●生涯学習相談・情報提供「ちょっとおしえてコール」

TEL:025-284-6119 soudan@mail.lalanet.gr.jp



新潟県立生涯学習推進センター 新潟市中央区女池南3-1-2 TEL:025-284-6110 FAX:025-284-6019
(URL) <http://www.lalanet.gr.jp/nlpc/> (e-mail) nlpc@mail.lalanet.gr.jp